



極東開発工業株式会社

証券コード:7226



第80期
中間決算のご報告

2014年4月1日~2014年9月30日



トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2014年4月1日から2014年9月30日までの当社第80期第2四半期の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米国における景気の改善や、国内における企業の収益改善を背景とした設備投資の緩やかな回復などの要因が見られたものの、消費増税や物価上昇および天候不順などの影響から個人消費が減少するなど、一部に弱めの動きも見られました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画 **「Next Step 2015」** ～さらなる飛躍に向けて～（2013年4月1日～2016年3月31日）の2年目として、売上・利益および企業価値の更なる向上を図るべく、国内外ともに積極的な諸施策の実行を推進しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較して、売上高は、主力の特装車事業が増加したこと等により4,646百万円（11.2%）増加して46,260百万円となりました。損益面では、営業利益は263百万円（6.7%）増加して4,179百万円、経常利益は持分法による投資損失等があったものの、売上高の増加に伴い149百万円（3.7%）増加して4,144百万円、四半期純利益は税負担の軽減により380百万円（18.6%）増加して2,426百万円となりました。

なお、通期の配当金につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、また足元の業績が比較的順調に進捗



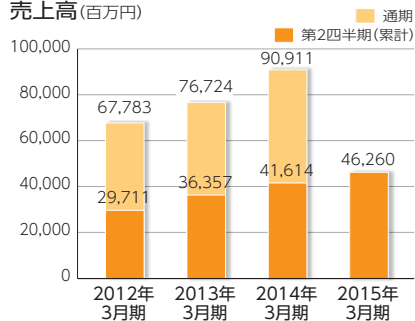
していることから、中間配当金につきましては、前期実績の1株当たり10円から2円増配の12円といたします。また、期末配当金につきましても、前期実績の1株当たり11円から1円増配の12円とする予定です。これにより、年間配当金は前期実績の1株当たり21円から3円増配の24円となる予定です。

株主の皆様におかれましては引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

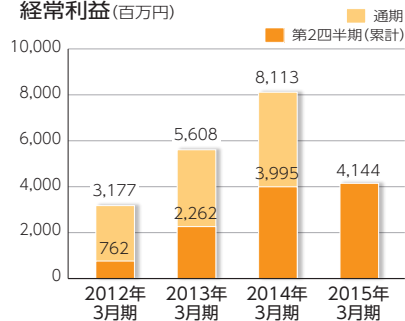
2014年12月 取締役社長 高橋和也

業績ハイライト

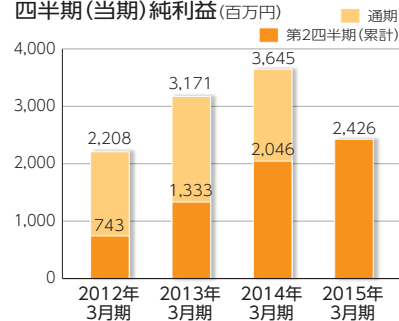
売上高(百万円)



経常利益(百万円)



四半期(当期)純利益(百万円)



■ 新製品ニュース 01

より洗練されたスタイリッシュなデザインを採用し、更なる進化へ!

1台積車輛運搬車「フラトップ® ZeroⅡ」を発売

1台積車輛運搬車「フラトップ Zero」の新ラインナップとして、斬新なデザインを採用した「フラトップ ZeroⅡ」を発売しました。

フルフラット式1台積車輛運搬車の先駆者として好評をいただいている「フラトップ Zero」の基本性能や充実の装備はそのままに、スッキリとした外観で運転席からの視界も良好な新デザインのフロントアーチや、車載専用車にはプレス構造と粉体塗装により優れた剛性と、デザイン性・防錆性を向上させたテールゲートと5種類から選択が可能なステップパネル（車両乗り込み板）を採用し、より一層洗練されたデザインへと進化しました。

また、さらにスタイリッシュさを向上させる、作業性にも配慮したフロントアーチプロテクタや、開閉可能なサイドスカートをオプション設定したことに加え、お客様からのニーズが高い装備を新たに標準搭載とすることで、使い勝手も大幅に向上しました。

車輛運搬作業をもっとスマートに魅せる新しい「フラトップ」の誕生です。



走行時



作業時
※オプション装着車

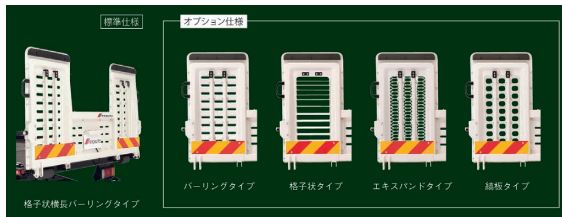
新型「フラトップ® ZeroII」のポイント

1 斬新なデザインのフロントアーチ



フロント
アーチ

2 プレス構造のテールゲートと 5種類から選べるステップパネル（車載専用車のみ）



テールゲートと
ステップパネル
バリエーション

3 フロントアーチプロテクタ およびサイドスカートを設定 （オプション）



フロントアーチ
プロテクタ



閉扉時



開扉時

サイド
スカート

4 LED作業灯・ボデー後端 樹脂ローラなど、 ニーズの高い装備を 新たに標準装備



LED作業灯

ボデー後端
樹脂ローラ

■ 新製品ニュース 02

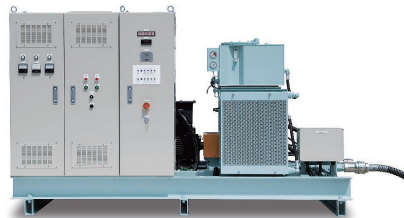
コンクリートポンプ車トップメーカーとしてのノウハウを凝縮し、
コンクリート二次製品の製造に最適化!

二次製品向けコンクリートポンプを発売

コンクリート二次製品向けのコンクリートポンプを開発いたしました。コンクリート二次製品とは、セメントを主原料として製造される部材・製品のことで、主にパイル（杭）や電柱などの製造に、コンクリートポンプ圧送を使った工法が採用されています。

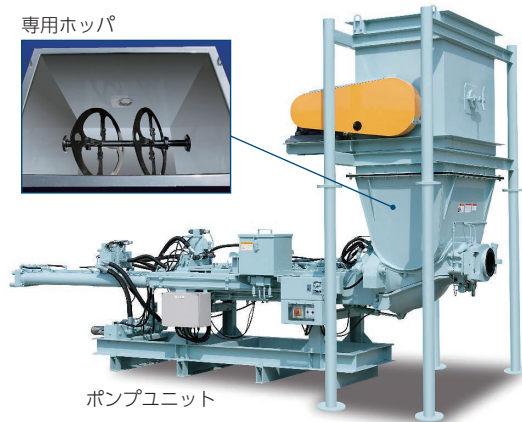
新製品は、当社がコンクリートポンプ車メーカーとして長年に亘り蓄積した豊富な実績と、高い技術力により開発され、攪拌用ブレード付の大容量専用ホッパなどの採用により、これらコンクリート二次製品の製造に最適化された仕様となっています。

またポンプユニットとパワーユニットはそれぞれ独立化させることで、製造工場の設備機械として多様なレイアウトへの対応が可能のほか、メンテナンス性の向上も実現しました。



パワーユニット

専用ホッパ



ポンプユニット

■ 新製品ニュース 03

小型化によるコスト圧縮でマーケット拡大

簡易移送型トランスヒートコンテナを開発

当社と、三機工業株式会社、三重中央開発株式会社との3社共同で、簡易移送型トランスヒートコンテナを開発し、三重県内で実証試験を行いました。

試験では、三重県伊賀市の三重中央開発株式会社エネルギープラザから発生する焼却排熱を小型トランスヒートコンテナに蓄熱し、脱着ボデー車（フックロール®）を用いて約10km離れた温泉宿泊施設「ヒルホテルサンピア伊賀」まで運び給湯用熱源として利用しました。

この開発は、従来のトランスヒートコンテナ（標準で24トン）に比べて総重量を10トン以下に小型化し、フックロールで運搬できるようにすることで、ランニングコストおよびイニシャルコストの低減を図り排熱を利用しやすくすることで、温暖化ガス削減に貢献することを目的としています。

今後は、3者協力しながら早期の市場導入を目指し、自治体や民間事業者等への営業を強化していく予定です。

熱の宅配便



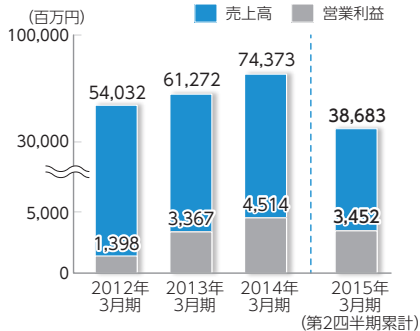
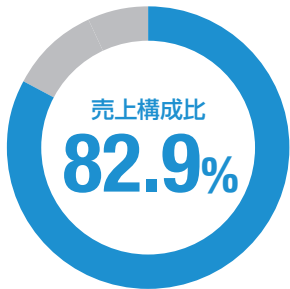
熱源側施設
から排熱を
搬出



排熱を利用
する施設へ
搬入

■ セグメント別概況

【 特装車事業 】



国内は、特装車の需要が前年に引き続いて高水準で推移する中で、受注の確保を継続して行うと共に、各工場における生産の効率化・合理化などで生産能力の強化を図り、納期短縮による収益の確保に努めました。また、5月より発売を行っている、ハイブリッドバッテリーの電気で塵芥収集装置を駆動させる世界初のシステムを搭載した電動式塵芥収集車「eパッカー®ハイブリッド」をはじめとした、新製品の開発および拡販にも積極的に努めました。



アルミタンク給水車

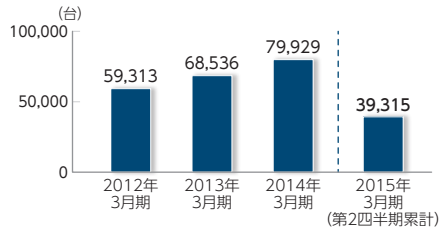


eパッカー®ハイブリッド
(プレス式 プレスパック®)

海外につきましては、タイ王国において当社と当社連結子会社である日本トレクス株式会社が現地企業2社と合併でバンボデーおよびダンプトラック等の生産・販売拠点となる新会社（TREX THAIRUNG CO.,LTD.: プルワックデー郡）の設立を行い、2015年の工場稼働に向けた準備体制を整えました。

これらの結果、売上高は4,917百万円（14.6%）増加して38,683百万円となりました。営業利益は、売上高の増加に加え、前年同期に計上した中国の生産子会社の貸倒引当金が当第2四半期には影響しないことなどより、1,697百万円（96.8%）増加して3,452百万円となりました。

■ 国内普通トラック登録台数の推移



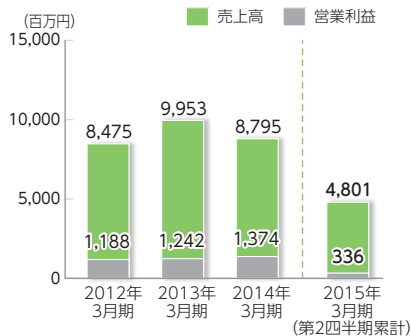
中型ダンプトラック



コンクリートポンプ車
(ピストンクリート®PY135-28-H)

■ セグメント別概況

[環境事業]



リサイクルプラザ (八尾市)

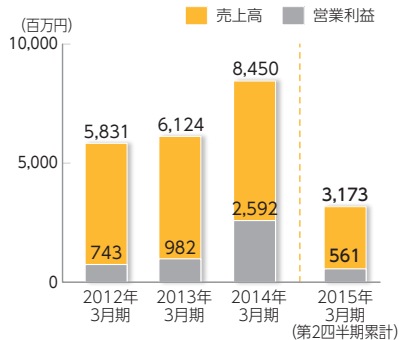
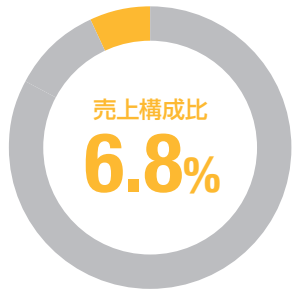


移動式破砕機

プラント建設につきましては新規物件の受注活動に努め、5月に北海道士別市様よりリサイクルセンターの建設工事を受注しました。また、メンテナンス・運転受託への継続的な注力および、受注済物件の建設工事につきましても引き続き推進しました。

これらの結果、売上高は、工事進行基準売上高の増加などにより、1,552百万円（47.8%）増加して4,801百万円となりました。営業利益は12百万円（3.5%）減少して336百万円となりました。

[不動産賃貸等事業]



コインパーキング
(P.ZONE®)



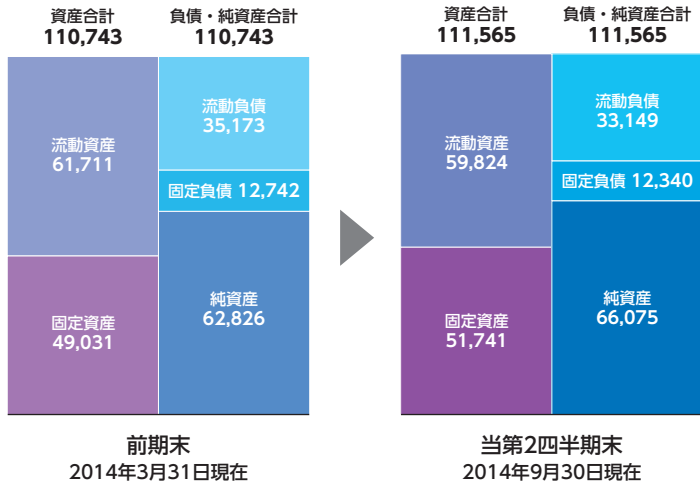
立体駐車装置
(地下パーク3N)

立体駐車装置は引き続き厳しい市場の中、リニューアルおよびメンテナンス事業の受注確保を図りました。また、コインパーキングにおけるコストダウンや稼働率向上に向けた事業地選別にも継続して注力を行ったほか、新規事業のメガソーラー発電所2拠点の稼働と併せ、利益の確保に努めました。

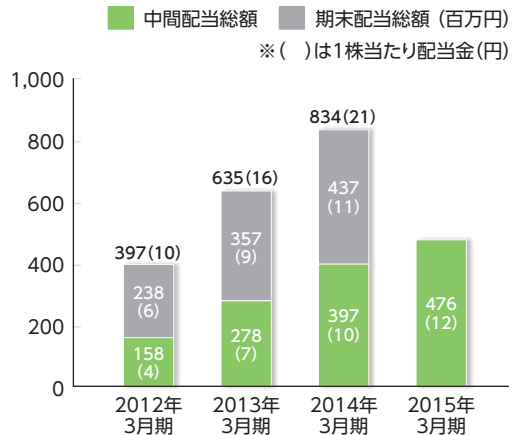
一方で、前年同期に計上を行った販売用不動産売却分が当第2四半期には影響しないことなどにより、売上高は1,765百万円(35.7%)減少して3,173百万円となりました。営業利益は1,470百万円(72.4%)減少して561百万円となりました。

■ 連結財務データ (日本基準)

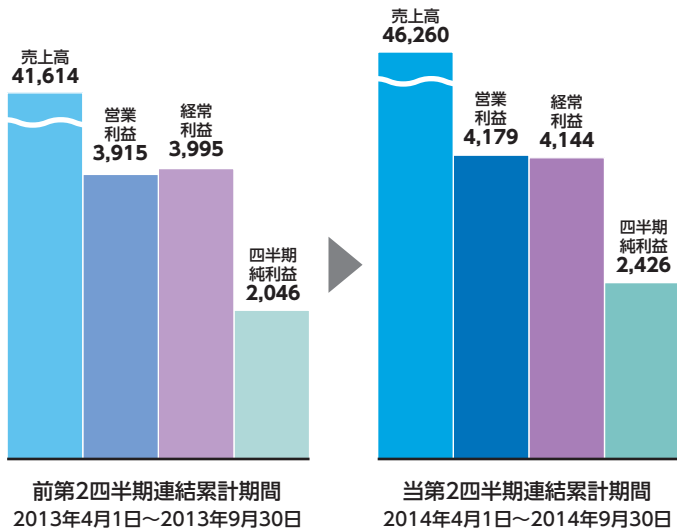
四半期連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



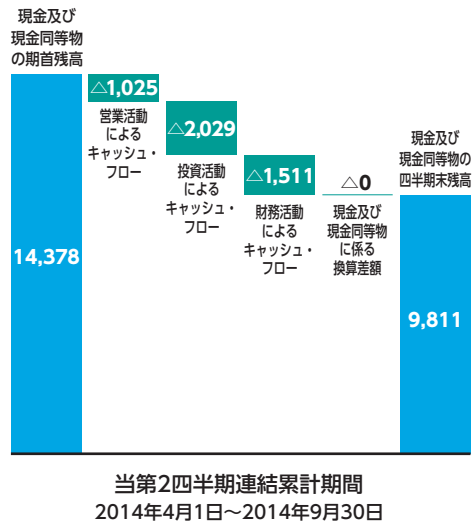
配当総額の推移



四半期連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



■ 企業データ (2014年9月30日現在)

[会社概要]

商号	極東開発工業株式会社 KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
設立	1955年6月1日
資本金	11,899,867,400円
従業員数	連結2,440名 単独924名

[役員]

代表取締役会長 最高経営責任者	筆谷高明
代表取締役社長 最高執行責任者	高橋和也
取締役常務執行役員	杉本治己
取締役常務執行役員	米田卓
取締役常務執行役員	近藤治弘
取締役常務執行役員	酒井郁也
取締役常務執行役員	西川柳一郎

執行役員	中則	西光	利健	寿男
執行役員	堀本	藤定		昇宣
執行役員	加藤	井		晃
執行役員	櫻井			
執行役員	越智	聡一		郎
執行役員	布原	達		也
執行役員	栗山	裕		章
執行役員	細澤	幸		広
常勤監査役	高島	義		典
監査役	植山	友		幾
社外監査役	道上			明
社外監査役	楠	守		雄

■ 株式データ (2014年9月30日現在)

[株式の状況]

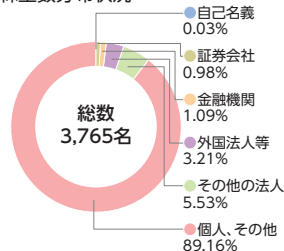
発行可能株式総数 170,950,672株
 発行済株式総数 42,737,668株
 株主数 3,765名
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,399	6.04
株式会社三井住友銀行	1,600	4.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社みなと銀行退職給付信託口)	1,498	3.77
極東開発共栄会	1,185	2.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,161	2.92
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,012	2.54
RBC ISB A/C DUB NON RESIDENT-TREATY RATE	935	2.35
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	858	2.15
宮原 幾男	841	2.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(トヨタ自動車口)	837	2.10

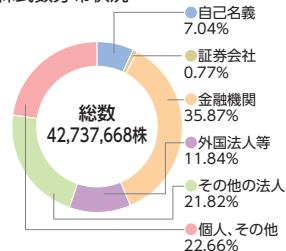
(注) 当社は自己株式を 3,008 千株 (7.04%) 保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

[株式分布状況]

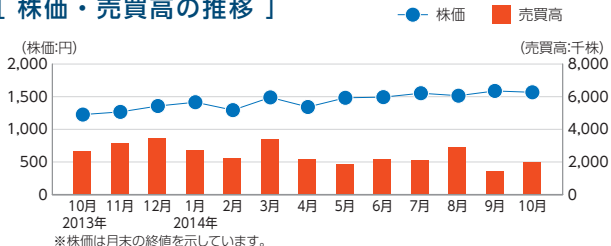
株主数分布状況



株式数分布状況



[株価・売買高の推移]



[株主メモ]

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページにて掲載 (http://www.kyokuto.com/)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部

Kyokuto Kaihatsu Kogyo Co., Ltd.

<ご注意>

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 経営企画部

TEL:0798-66-1500

URL:<http://www.kyokuto.com/>

MAIL:kkkikaku@kyokuto.com

